山鹿市民医療センター開放型病院広報紙　4月号

Yamaga Medical Center

つばさ

発行所　山鹿市民医療センター　〒861-0593　熊本県山鹿市山鹿511番地　TEL 0968-44-2185(代)　FAX 0968-44-2420

令和6年度のスタートにあたり

近隣の先生方や医療従事者の皆さまには変わらぬご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

4月から山鹿市病院事業管理者としての3年目を迎えました。石河　隆敏院長、松本　和美新看護部長、木村　隆男事務部長との協力体制のもと、**「がん診療」**、**「高齢者医療」**、**「予防医療」**を３本の柱として、職員一丸となって病院の活性化に取り組んで参ります。松本看護部長は積極的な人事交流の一環として、昨年４月に熊本赤十字病院から招聘しました。

今年は「医師の働き方改革元年」になります。当センターは昨年に熊本県医療勤務環境改善支援センターからの特別支援施設に認定され、無事にＡ水準が適用されます。さらに医師の仕事を直接サポート可能な特定行為看護師が2名誕生し、合計3名になります。今年度は、職員の適正勤務とサービス向上を目的として、看護師10名を含む17名の常勤職員を増員しました。近隣の先生方には、積極的な患者紹介と迅速な転院の受け入れを引き続きよろしくお願いいたします。

現在、20診療科、医師41名を含む職員総数330名で診療を行っています。常勤医師24名に増加しました。昨年の11月に麻酔科の相方靖史医師を、本年４月に循環器内科の中山智子医師と小児科の小澄将士医師を新たに迎えました。中山医師は山鹿で開業されている内田英雄先生のご令嬢になります。交代による新任医師としては地域医療センターから増田稔郎外科長を迎えます。肝胆膵外科が専門です。消化器内科に中垣貴志医師を、整形外科に井手淳之介医師を迎えます。その他の外来の診療体制は非常勤医師により維持します。泌尿器科の神波大己教授には引き続き、毎週木曜日に診察に来ていただきます。詳細は当センターホームページの診療科紹介をご覧ください。

当センターは、第二種感染症指定医療機関の指定を受けています。新型コロナ感染症は、昨年5月に第五類感染症へと引き下げられましたが、感染力は衰えず、昨年8月と今年2月には院内の感染者の増加により、病院機能を縮小せざるを得ない状況となり、多大なご迷惑をおかけしました。重症化する症例が少ないことは幸いですが、病院経営には多大な影響があります。今後はコロナとの共存からコロナからの脱却を目指していく必要があると考えています。

昨年の9月には第42回 Microwave surgery 研究会と第5回市民公開講座を成功裡に終えることが出来ました。応援していただいたすべての方に感謝いたします。

本年度のイベントとしては、5月25日(土)に、山鹿市誕生20周年を記念して**地域の未来に向けての「健幸都市」と「病院」づくり**を開催予定です。山鹿市の早田順一市長、鹿本医師会会長の幸村克典先生にご挨拶をお願いしています。石河院長からの当センターの紹介の後に、データサイエンス・AIを用いた公的病院の研究がご専門の宮崎産業経営大学の川島　秀樹先生と熊本大学長の小川　久雄先生に特別講演をお願いしています。さらに来年3月には山鹿市民交流センターで、日本医療マネジメント学会熊本支部学術集会を開催予定です。

引き続き、笑顔があふれる病院を目指したいと考えています。患者さんの病気が治って笑顔、苦痛がとれて笑顔、職員が笑顔で挨拶、笑顔で仕事、などがキーワードです。合わせて、ご指導、ご支援の程をよろしくお願いいたします。

病院事業管理者：別府　透

基本理念

地域住民の生命（いのち）と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

① 患者さま中心の信頼される医療を行います
② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

令和6年度のスタートにあたり……………… P 1
院長挨拶／看護部長挨拶 ……………… P 2
新任医師挨拶 ……………… P 3
看護部長退任挨拶／退任医師紹介 ……………… P 4
ブレストケアチーム ……………… P 5
第57回公開特別講演会のご案内 ……………… P 5
外来担当医表（4月） ……………… P 6

新年度のご挨拶

病院長
石河　隆敏

新年度を迎え、新たな気持ちと環境で活動を始められている方も多いことと存じます。

さて、様々な変革があった近年の中でも昨年度は特に大きな転換期を迎えた年であったように感じられます。新型コロナのパンデミック以降停滞していた世の中が「感染症５類への見直し」とともに一気に動き出した感がありました。一方、新型コロナという疾患が無くなったわけではなく、病院診療への影響はまだ続いているのも事実です。

しかし、コロナ前に戻ったという表現が使われることが多くなり、明るい方向が見えてきていました。その矢先に発生した能登半島地方を震源とする地震により大きな被害がもたらされました。あらためて深い哀悼の意を表し、被災された皆さまに心からお見舞い申し上げます。

コロナ流行下の４年間で地域社会では、ますますその課題が目に見えてきました。少子高齢化、人口減少、中央都市部との格差、インフラの老朽化などがその代表です。それは地域病院と地域社会がかかえる共通の課題でもあります。そうした中、2024年度は診療報酬改定が行われる年となります。今回は６年に１度の「トリプル改定」で、複数の医療制度にまたがる大規模な改定です。国家的医療計画が基礎となっており、その意味では公的地域医療機関の今後を左右するものとなるかもしれません。改定に対応しつつ、今後も我々の使命である「地域住民の生命と健康への貢献」をめざして地域中核病院としての医療を維持して行く必要があります。その病院活動のためには人材確保に務め、職員が充実して働ける体制作りに力を入れていく必要があると思っています。当センターの活動に引き続き皆様のご理解とご支援をいただければ幸いです。

新年度も何卒よろしくお願い申し上げます。

看護部長就任のご挨拶

看護部長
松本　和美

みなさんこんにちは。松本和美と申します。

長きにわたり当センターの看護部を牽引されてきました野中看護部長が退かれましたので、2024年４月より看護部長に就任することになりました。これまで築きあげられたことを引継ぎ、病院理念のもと地域の医療環境づくりに貢献できるよう努めてまいりますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

当センターは、地域の中核病院として地域住民の命と健康を守る為に救急医療及び急性期医療の提供体制の充実とそれを支える総合的な診療体制の確立、診療機能の強化を基本軸としています。また、看護部は「患者さんの人権を尊重し、心あたたかな看護を提供します。」を理念に掲げております。この理念に基づいて看護の専門職業人としての真価を発揮し、地域住民の健康と安全に貢献するとともに、患者さんの権利を最優先に考えた患者中心の看護サービスの提供を目指しております。

これらを成し得るためには、確かな看護技術の習得、根拠に基づいた看護実践能力をもって、患者さんの生活に視点をおきながら、患者さんとともに考え行動できる看護師、専門職として質の高い信頼される看護サービスが提供できる“自律した”看護師の育成が必要だと考えています。また、入院から外来、地域へと看護を繋ぎ、患者さん自身がその人らしい生活ができるよう切れ間のない看護システムの更なる深化・推進を図る必要性も感じております。そして、看護職が看護の魅力ある職業と感じ、やりがいと誇りを持ち、笑顔で働き続けられるような職場づくりを大切にしたいと考えております。

このようにして、だれもが「山鹿市民医療センターに来てよかった」「ここで働いてよかった」と思えるような病院・看護部になるよう尽力していきたいと考えていますので、これからどうぞよろしくお願いいたします。

新任医師挨拶

外科　増田　稔郎　先生

　2024年4月から外科に赴任させていただく増田稔郎と申します。前任地は熊本地域医療センターで、３年間勤務いたしました。
　私は、これまでに一般外科、胃・腸外科、肝胆膵外科、内視鏡外科、消化器がんの抗がん剤治療などを広く経験して参りました。当センターでは、胃・大腸・肝臓・膵臓などのがんや、胆石・胆嚢炎、虫垂炎、腸閉塞など、それぞれの疾患の治療ガイドラインを基本にしつつ、患者さんお一人お一人にベストマッチした安全かつ根治性の高い手術・治療を行って参りたいと考えています。
　また、当センターでの自分の使命は、外科の手術件数アップ、特に膵臓がんの安全な手術の導入および手術数増加と考えています。開業医の先生方、病院スタッフの皆様のご指導、ご協力をいただければ幸いです。
　微力ながら、山鹿の地域医療に貢献して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

消化器内科　中垣　貴志　先生

　４月より消化器内科医として赴任いたしました中垣貴志と申します。前任地は天草地域医療センターで３年勤務しておりました。
　当センターの医師として、患者さんの健康と幸福に貢献するため、心を込めて最高水準の医療を提供してまいります。これまでの経験を生かし、地域の皆様と共に信頼と絆のある医療を築いていく所存です。
　医療はチームワークによって成り立つものであり、患者さんとそのご家族、そして医療スタッフとの信頼関係を大切にし、共に歩むことを心から願っています。地域社会の一員として、患者さんのニーズに応え、地域の健康増進に貢献してまいります。
　新たな環境での挑戦に胸を膨らませながら、皆様とともに成長し、医療の質を高めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

循環器内科　中山　智子　先生

　この春から循環器内科医として勤務することになりました、中山智子です。2012年に卒業し、前期・後期研修期間は救急医療に従事した後に循環器内科医として研鑽を積んでまいりました。前任の済生会熊本病院では心臓超音波検査を専門とし、構造的心疾患治療を勉強していました。また同時に集中治療医として、ECMOなどの機械的補助循環をはじめとした循環器集中治療、また外科術後管理などの集学的治療に従事しておりました。近年では心不全療養指導、心臓リハビリテーションを普及させるべく取りくんでおります。
　生まれ育った大好きな山鹿の地域医療に貢献できることを大変うれしく思います。患者さんに寄り添った医療を提供できるよう、がんばっていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

小児科　小澄　将士　先生

　2024年4月より赴任することになりました、小児科の小澄将士（こずみまさと）と申します。熊本大学小児科に入局後、熊本大学病院、熊本赤十字病院等で診療に従事してまいりました。昨年は福田病院新生児センターで新生児医療に従事しておりました。
　鹿本高校出身であり、故郷で医療に従事できることを大変嬉しく思っております。
本年度より新体制での始動となるため、まずは、山鹿地域の小児医療の現状把握、ならびに近隣医療機関との連携体制の確立が直近の課題と考えております。
　微力ではございますが、これまでの経験を活かし、山鹿地域の医療に貢献できればと考えておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

整形外科　井手　淳之介　先生

　４月より整形外科に赴任いたしました井手淳之介と申します。
　熊本大学整形外科に入局し、熊本大学病院のほか大牟田天領病院、熊本赤十字病院、熊本労災病院などで勤務しておりました。診療は整形外科一般、外傷を中心に経験を積ませていただきました。
　患者さんの思いに寄り添うことを大切にして診療を行っていこうと思います。これからよろしくお願いいたします。

退任挨拶

看護部長
野　中　理　佳

　昭和62年に山鹿市民医療センター（旧：山鹿市立病院）に入職し、今年度無事に定年を迎えることができました。どの時代でも、周りの仲間に助けられ仲間がいたから笑い合い頑張れたと感じています。人との出会いは宝物で、いろんな人との関わりは無意識に何かしらの影響を受け、今の私がいるのだと思います。これまで出会った全ての方々に感謝申し上げます。

　改めて振り返ると、人生、川の流れのように水の流れに逆らうことなくここまで来たように感じます。その中でも様々な岐路に立たされることも多く、医療安全管理室の立ち上げ、平成28年４月に看護部長職という大きな選択をしました。覚悟を決めて部長となりましたが、同年４月に試されるように熊本地震が発生し、そして今、４年間に及ぶ新型コロナウイルス感染症との戦いも終わりに近づき、自身も幕引きの時期を迎えました。

　就任時に病院の使命を果たせるための看護部として、考えて行動できる看護職・スペシャリストの育成や活用、働く職場環境の整備等、目標に掲げ取り組みましたが、まだ道半ばで課題も多く残っています。また、地域の看護部長さん方との出会いも大変貴重であり、他施設の状況を知り共通の課題等を語り合ったことも良い思い出です。「顔の見える関係」と言いますが、それを実感することができました。これまで本当にいろんな経験をさせていただき、多くのことを学ばせていただきました。退職の寂しさもありますがやっと肩の荷を下ろせるといささか安堵する自分もいます。

　当センターは地域の中核病院としての使命も大きく、病院理念を浸透させ、全職員がベクトルと心を合わせ、協力しあえる組織で役割を果たされることを願っています。そして、大好きな看護部ですが、新看護部長を中心にした新たな看護部のご発展をお祈りしています。

　37年間の長きにわたり大変お世話になりありがとうございました。

退職医師紹介

・尾﨑　宣之　医師	診療科：外科	役職：外科長/医療技術部薬剤科長
・上野　茂紀　医師	診療科：消化器内科	役職：消化器内科医長
・山元　雅典　医師	診療科：整形外科	役職：整形外科医長

　山鹿市民医療センターでのご勤務
ありがとうございました。
　皆さまの今後のご活躍を
　　　お祈り申し上げます。

ブレストケアチーム

乳がんは、がんの中でも日本女性がかかる割合（罹患率）がトップであり、その罹患率は増加の一途をたどっています。生涯のうちに乳がんを発症する女性の割合は、50年前は、50人に１人でしたが、現在は9人に1人といわれています。年間9万人以上が乳がんと診断され、熊本県は都道府県別乳がん罹患率が全国10位というデータもあります。

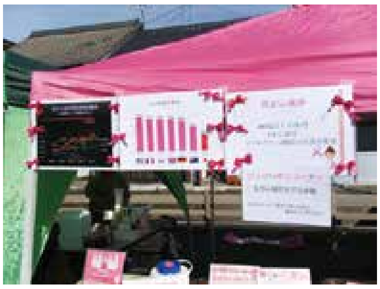
当センターの乳腺外来でも患者数は年々増加傾向となっており、昨年度の乳腺の初診患者146名のうち74名の方が乳がんと診断されました。（他院からの紹介も含む）

当センターでは、乳がん患者さんをチームで支援するブレストケアチームを平成16年に設立しました。チームは、医師・看護師・薬剤師・保健師・作業療法士などで構成され、「こころ」「からだ」「くらし」のケア、地域の方への乳がん検診啓発活動等様々な研修への参加、乳がん学会への参加も行っています。

毎年10月には、乳がん患者の集い「ピンクコスモス会」を開催しておりましたが、新型コロナウィルス感染症の影響で令和元年より開催を休止しておりました。本年度は４年ぶりに「ピンクコスモスの会」を開催することができました。「ピンクコスモスの会」の名称は、集いの中で患者さん達と一緒に考え、乳がん患者の集いを開催する10月がピンクリボン月間であり、コスモスが咲く時期と重なることから決定したものです。

集いは、自分の体験を話すことで患者さん同士でしか理解することができない不安な気持ちや症状のつらさなどを共感し、情報交換や医療スタッフとの交流の場となっています。今回は熊本大学病院乳腺外科の当センター非常勤医師　冨口麻衣先生も交えての開催となり大変盛り上がりました。今後も感染対策を行いながら毎年開催していきたいと思っています。

ブレストケアチームでは、これからも乳がんの患者さんやご家族が、安心して治療を継続できるようサポートしていきたいと考えています。



（乳がん検診啓発活動の様子）

（文責：ブレストケアチーム看護師　社方　紀代美）

第57回公開特別講演会のご案内

（日本医師会生涯教育講座１単位）

取得カリキュラムコード　番号・コード名
76.　糖尿病

下記により第57回公開特別講演会を開催いたします。多数ご参加くださいますようご案内申し上げます。

鹿本医師会会長　幸村　克典
山鹿市病院事業管理者　別府　透

記

日時：令和6年4月12日（金）19：00～
形式：ハイブリッド方式(オンライン参加or会場参加)
会場：オンライン参加 / Zoomミーティング
会場参加/山鹿市民医療センター1階医療研修センター
演題：「2型糖尿病の病態と薬物治療」
司会：山鹿市民医療センター 病院事業管理者 別府 透 先生
演者：熊本大学大学院　生命科学研究部
代謝内科学分野　窪田　直人　教授
参加費：無料

【参加要領】下記参加URL、又は参加QRコードからご参加ください。
（参加URL）：https://zoom.us/j/98743447159
（参加QRコード）⇒
ミーティング　ID：987 4344 7159
パスコード：992271

※ミーティングに参加される際の【名前】欄には、必ず「氏名」と「医療機関名」をご入力ください。
※快適にご視聴いただくため、イヤホンやヘッドセットのご使用をお勧めいたします。

お問合わせ先　山鹿市民医療センター
地域医療連携室　深水、西田
TEL:0968-44-2185　FAX:0968-44-0071

※共催：鹿本医師会
山鹿市民医療センター医療研修センター運営委員会

外来担当医表　4月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※後藤　由比古	※赤池　公孝	※後藤　英介	—	※後藤　英介
腫瘍内科	—	—	—	—	※宮本　英明
消化器内科	中垣　貴志	竹野　洋司	本原　利彦	竹野　洋司 中垣　貴志	本原　利彦
内分泌・代謝内科	川崎　修二	—	川崎　修二	—	川崎　修二
循環器内科	大庭　圭介 清水　博	大庭　圭介 清水　博	清水　博 中山　智子	中山　智子 清水　博	大庭　圭介 清水　博
整形外科 (紹介外来制)	横田　秀峰 中原　達秀 井手　淳之介	工藤　智志 中原　達秀 湯本みずほ / 井手淳之介	手術 (担当医)	工藤　智志 横田　秀峰 湯本　みずほ	手術 (担当医)
外科	別府　透 石河　隆敏 織田　枝里	手術 (担当医)	別府　透 石河隆敏 / 増田稔郎 辛島龍一 / 織田枝里	手術 (担当医)	別府　透 石河　隆敏 増田　稔郎
乳腺外科	—	※冨口　麻衣	—	—	—
泌尿器科	—	※原田　成美	—	※神波 大己 教授	—
小児科	小澄　将士	小澄 将士(午前) ※石井 真美(午後)	小澄　将士 (午後：予防接種)	小澄 将士(午前) ※石井 真美(午後)	小澄　将士
	＊小児科の午後は、16：00受付終了となります				
耳鼻咽喉科	—	非常勤医師	—	非常勤医師	—
眼科(予約制)	—	非常勤医師	非常勤医師	—	—
産婦人科	非常勤医師(午後) (受付13:00～16:00)	※片渕美和子(午後) (受付13:00～16:30) 婦人科･思春期･更年期	—	非常勤医師(午前) ★非常勤医師(午後) (受付13:00～16:00)	非常勤医師 (午前)
緩和ケア内科(予約制)	織田　枝里	堀　和樹	織田　枝里	堀　和樹	—
総合診療科	吉岡　明子	—	吉岡　明子	—	吉岡　明子
救急外来	外科医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡　明子	大庭 圭介(午前) 清水　博(午後)	奇数週：担当医 偶数週：吉岡明子	外科医(午前) 消化器内科医(午後)
健診	髙木　茂	髙木　茂	髙木　茂	髙木　茂	髙木　茂

◎診療受付時間は、8:30(予約再診の方は8:00)～11:00
◎当日の受診に関する相談を除く電話は、14時から17時が受付となります。
※ 非常勤医師です。　★ 第2、第4のみ診療となります。

特殊・専門外来【予約制】　4月

名称	担当医等	実施日	診察場所
外来化学療法	担当医	毎週　火曜・水曜	各診療科
	※宮本英明	毎週　金曜（がん薬物療法専門医）	
禁煙外来	坂田和子	毎週　月曜（午後）	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田和子	毎週　火曜・木曜（午後）	
小児科予防接種	小澄将士	毎週　水曜（受付時間13:30～16:00）	
ストーマ外来	担当医	毎月　第3水曜（午後）	Bブロック
PEG外来	担当医	毎月　第2水曜（午後）	
セカンドオピニオン外来	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。
◎急患の場合は、この限りではありません。
ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。
◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

山鹿市民医療センター
〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地
TEL(代表)0968-44-2185　FAX 0968-44-2420
http://yamaga-medical-center.jp